

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 新田 真一

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

会派代表者	竹原孝剛	経理責任者	竹原孝剛
視察議員	新田 真一		
期 間	2023年 8月9日 (水)		
視 察 先	地方議員研究会		
視 察 用 務	新型コロナウイルスと自治体病院		
視察先対応者	城西大学教授 伊関 友伸		
概要及び所見	自治体病院はコロナ感染症を積極的に受け入れた。未知の感染症の患者を受ける恐怖・手探りの治療法・突然の重症化などの課題があるに関わらず、多くの病院が自治体病院の使命として病床を確保し受け入れた。自治体病院の存在意義がここにある。 自治体病院はどのようにコロナに対応したか。 ・感染症病床の不足と偏在 ・対応できる医師 スタッフ不足 ・経営にも打撃等 このような状況で国は補助制度を充実させ患者を受けた病院に黒字がでるようになった。 地域医療構想で公的病院の再編成必要と厚労省が全国424病院を発表した。しかし、自治体病院の運営は地方自治体であり、国が自治体病院に関して政治的な決定をする権限はない。地域医療構想の議論のやり直しの必要も言われている。 市立三次中央病院も自治体病院として、新型感染症に対する役割を明確にし地域の医療機関とも連携の必要がる。また建て替えに当たっては、ローコストを意識しつつ、医療提供の高度化や感染症に対応した病院とすべきだと思う。そのために病室の個室化や感染外来の設置などの議論の必要がある。		